

認知症の方の様子・家族の心得

認知症の段階	自立 一人で生活できる	認知症の疑い 誰かの見守りがあれば日常生活はほぼ自立	認知症(軽度) 誰かの見守りがあれば日常生活はほぼ自立	認知症(中等度) 日常生活を送るには支援・介護が必要	認知症(重度) 常に専門医療や介護が必要	
本人の様子	会話など	問題なく一人で行える	物忘れが増えていることが気になる	物忘れの自覚がない	コミュニケーションをとるのが難しくなるが、感覚(目・耳・鼻など)の機能は残っている	
	食事・調理		味付けが変わった (食事が必要以上に甘かったりしょっぱかったりする)	必要以上に同じ食材を買い込んでしまう 同じ料理を頻繁に作るようになる	ガスの消し忘れが目立つ	食べ物ではないものを口に入れる
	着替え		見守りがあれば一人で行える	季節感に応じた服を選べなくなる	一人で着替えが出来なくなる(肌着を上に着てしまう等)	
	お金の管理 買い物		見守りがあれば一人で行える	小銭があるのに、お札で支払うことが多くなる 通帳などの保管場所が分からなくなる	財布などの大事なものが盗まれたと 人を疑うが増える	自分で管理することは難しくなる
	服薬		時々、薬の飲み忘れがある	薬の飲み忘れが目立つ	一人では薬の管理ができなくなる	
	外出		約束した日時や場所を忘れてたり 間違えるようになった	車の運転が心配である	自分がどの場所にいるのかわからなくなる 以前に比べて、外出するのがおっくうになり、家に閉じこもりがちになる	
家族の心得	本人と一緒に認知症予防に関する取組を 実践してみましょう	早期発見・治療を心がけましょう	生活していく上で出来ないことも多くなりますが、できることもまだまだあります。 本人の出来ることに目を向けてみましょう	介護の負担を抱え込まないように医療や介護サービスを活用していきましょう		
	<p>気になることが多くなってきたら、一人で悩まず各種窓口や医療機関に相談してみましょう!</p>					
主なサービス	医療	かかりつけ医		かかりつけ歯科医	かかりつけ薬局	
	介護			専門医(精神科など)	訪問・通所・泊まり・福祉用具のレンタルや購入など 各種介護サービス	
	予防	健康診断・歯科検診	老人クラブ・ふれあいサロン生涯学習活動	健康づくり事業・運動教室・介護予防教室	など	
	見守り・安否確認	配食サービス	ふれあい安心電話	気づきの輪協力事業所	認知症サポーター 民生委員 警察 など	
	家族への支援			認知症カフェ	日常生活自立支援事業(通帳預かりなど、金銭管理のお手伝い)	
	住まい			自宅	有料老人ホーム サービス付高齢者向け住宅	
				認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 特別養護老人ホーム など		

